図書館だより

vol.22
冬

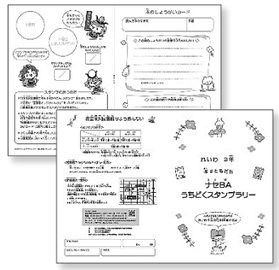
2022.1 市立米沢図書館

◆ ナセBAうちどくスタンプラリー ◆ 開催中!

3/31(木)まで

市内小学生を対象に、本の貸出や紹介カードを書いた方に景品を差し上げるスタンプラリーを開催中です。本を２回借りた方にしおりを、次に、お家の人と一緒に読んだ本の紹介カードを書いた方にクリアファイルをプレゼントします。さらに、紹介カードを書いた方の中から抽選で 20 名に 1000 円分の図書カードをプレゼントします。昨年は図書館内に紹介カードと本を展示し、たくさんの貸出がありました。今年は 5/27(金)から 6/22(水)まで、中２階多目的展示室にカードを展示する予定です。この冬も、たくさん本を読んでスタンプを集めましょう！

※景品は無くなり次第終了です。



スタンプラリー台紙

＊実施します＊

◆ 第４回 読書会「私の人生の一冊、絵本編」◆

日時：1/23(日) 14 時～15 時 30 分
会場：ナセ BA1 階　体験学習室
持ち物：紹介したい絵本 1～2 冊
定員：10 名　　申込方法：メールまたはカウンターにて

絵本はこどもだけのもの？おとなも感動する素敵な絵本がたくさんあります。「こどもが夢中になる」、「こどもと一緒に読みたい」、「こどもに読んでほしい」、「こどものとき読んだ」等、絵本の魅力を語り合いましょう。

●第３回 読書会の報告 11/6(土)●

この回の題材は、映画『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』と『パブリック 図書館の奇跡』。ニューヨーク公共図書館のきめ細かいサービスへの驚きや、「居場所」としての図書館の大切さなどについて語り合いました。

◆ 先人顕彰コーナー「展示：田中俊雄」◆

会　　期： 1/28(金)～3/23(水)　　休館日 蔵書点検：2/1(火)～7(月)、2/24(木)
開催場所：ナセ BA 中２階　先人顕彰コーナー　　主催：公益財団法人米沢上杉文化振興財団

米沢の機屋(はたや)「田駒」に生まれた田中俊雄(たなかとしお)(1914-1953)は、「民藝」運動の中心人物であった柳 宗悦(やなぎむねよし)(1889-1961)らとともに運動に参画し、沖縄（琉球）の織物について研究をしました。昭和初期、沖縄調査の際に国内ではほとんど見られなくなった織物の技法や技術が残っていることを知り、記録に努めた田中の功績は、太平洋戦争後の沖縄の織物界の復興においても助力となりました。当館所蔵資料をもとに、田中の功績を紹介します。

◆ 2/1(火)～2/7(月) 蔵書点検に伴う休館日 ◆

【蔵書点検とは？】「蔵書」とは、図書館にある資料（本、新聞、雑誌、DVD・CD など）のこと。「蔵書点検」とは、本の棚おろし、つまり、資料が決められた棚にあるかを調べ、行方不明のものがないかを点検する作業のことです。

◆ 第 65 回 古文書解読講座を開催します ◆

毎年好評の古文書解読講座、今年も様々な種類の文書を読みます。奮ってご参加ください。

期日：2/19(土) 青木昭博(市立米沢図書館副館長)
「米沢藩絵図方・岩瀬家文書の世界」
2/26(土) 小林文雄氏(米沢女子短期大学日本史学科教授)
「置賜地方の近世文書を読む」
3/5(土) 阿部哲人氏(米沢市上杉博物館学芸員)
「戦国武将の書状を読む ― 国宝「上杉家文書」から ―」
会場：置賜総合文化センター301 研修室

時間：いずれも 13 時 30 分～16 時 (受付開始 13 時)
資料代：各回 500 円（当日お支払いください）
受付開始：1/11(火)～ 先着順
申込み：市立米沢図書館 郷土資料担当
電話 0238-26-3010、FAX 0238-26-3012
受付フォーム
＊申し込みの際にどの回をお申込みか、お知らせください。

伝国の杜・ナセ BA 連携企画
青少年・こどもの「まなび」応援
図書館利用者カード割引

小～大学生の方は、市立米沢図書館の利用者カードを米沢市上杉博物館で提示すると、常設展・企画展とも入館料が割引になります（団体割引適用）。

展覧会情報は、米沢市上杉博物館のホームページをご覧ください。
https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp

◆開館時間
[平日]
４月～９月 10:00～20:00
10 月～３月 10:00～19:00
[土・日・祝日] 9:00～19:00

◆休館日
毎月第４木曜日
年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
蔵書点検期間
施設点検日

◆貸出数・貸出期間
図書・雑誌 10 点まで 14 日間
DVD・CD　3点まで　7日間

〒992-0045
山形県米沢市中央１丁目 10 番６号
（ナセBA ２階）
TEL：0238-26-3010
FAX：0238-26-3012
Mail：tosyokan@library.yonezawa.yamagata.jp
URL：https://www.library.yonezawa.yamagata.jp/
Twitter：@yonezawalibrary

カレンダーマークのご案内
ブックスタート
※7 か月児健康教室時実施
先人顕彰コーナー 展示替

今後のスケジュール予定

自動車文庫車「アタゴオル」は、約 3,500 冊の図書を積んで市内約 70 ヶ所を巡回しています。図書館と同じように本の貸出ができますので、ぜひご利用ください。
※巡回場所と時間は図書館 HP をご覧ください。

2022 年１月

月	火	水	木	金	土	日
2021/12/27	2021/12/28	2021/12/29	2021/12/30	2021/12/31	1	2
				年末年始休館日 2021/12/29(水)～ 1/3(月)		
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22 英語多読サロン	23 第４回読書会
24 / 31	25	26	27 [休館日] 先	28	29	30

2022 年２月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
		蔵書点検のため休館　2/1(火) ～ 2/7(月)				
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19 古文書解読講座①	20
21	22	23	24 [休館日]	25	26 古文書解読講座②	27 英語多読サロン
28						

2022 年３月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5 古文書解読講座③	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24 [休館日] 先	25	26	27
28	29	30	31			

感染症拡大防止のため中止しているイベントの再開時期や最新情報は、ＨＰや Twitter をご覧下さい。

ナセBA
市立米沢図書館 Book & Art よねざわ市民ギャラリー

【図書館では、下記のマナーを守ってご利用下さい】※キャップ付飲料は持込可

新着 一般書 おすすめ本

タイトル：「空気読みすぎ」さんの心のモヤモヤが晴れる本
著者：大嶋 信頼　　出版社：永岡書店　　分類：146.8

あなたも、こんなところありませんか？「あのとき、ああ言えばよかった。と後悔することがよくある」「夜になると、ひとり反省会をしてしまう」「起きてもいないことをいつも心配してしまう」など。この本で心をラクにしませんか？まずは、心のモヤモヤのチェックからはじめましょう。

タイトル：発酵白菜レシピ からだにおいしい魔法のつくりおき
著書：重信 初江　　監修：石原 新菜　　出版社：家の光協会　　分類：596.37

今旬の野菜、白菜。その白菜を乳酸発酵させ、酸味とうまみを引き出した「発酵白菜」。発酵白菜コールスロー、発酵白菜ハンバーグ、ツナと発酵白菜のペペロンチーノ、酸菜白肉鍋など、いつもの白菜レシピじゃない、からだにいい発酵白菜 40 レシピを紹介しています。

タイトル：新しい星
著者：彩瀬 まる　　出版社：文藝春秋　　分類：913.6

幸せな恋愛、結婚。そして出産に子育て…。社会人になったらいずれ家庭を作って…。子どもの頃に思い描いていた「普通」の人生を謳歌していたはずの４人に訪れる、思いがけない転機。コロナ時代の「普通」に揺れる、ある男女４人のリアルを描いた８つの物語です。

新着 児童書 おすすめ本

タイトル：いっしょだねいっしょだよ
さく：きむら だいすけ　　出版社：講談社　　ぶんるい：小さいえほん 91

ながい首に、ちょっとながい首。おおきなおかおに、ちいさなおかお。ページをめくるごとに、いろいろな動物のおやこがとうじょうします。からだのいろやかたち、そしてうごき。おやこ、兄弟もみんないっしょだね。ページの中には、何かがかくれているよ。

タイトル：366 日の感動物語 今日は何の日?
へんしゅう：木平 木綿　　出版社：学研プラス　　ぶんるい：子どもの本 20

１年 366 日、その日におこった出来事やその日にゆかりのある、いろいろな人物のエピソードを、物語形式でしょうかいしています。また、１話が約３分ほどの内容なので、１日１話を読むことで、知識が身につき、読書の習慣づけにもおすすめです。

タイトル：「自己肯定感」を高めて自分を大切にしよう
作：古荘 純一　　出版社：PHP 研究所　　分類：ティーンズコーナー 49

自己肯定感とはどのようなものなのかを解説するとともに、自己肯定感が低くて苦しんでいる中高生たちに、どうして自己肯定感が低いとしんどいのか、そしてさまざまな 10 代の悩みに答え、どう対処して乗りこえていくのかを紹介しています。

＊実施しました＊

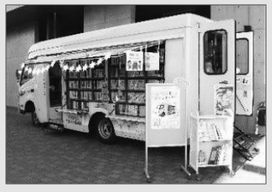
2021 読書週間図書館フェア 10/29(金)～11/7(日)

◆期間中　ナセ BA 覆面 BOOKS

表紙やタイトルを隠した「覆面本」の貸出を行いました。謎の覆面イラストのカバーに注目が集まり、たくさんの貸出がありました。

◆期間中　走る図書館 自動車文庫「アタゴオル」大解剖！

巡回先や利用方法、歴史等をパネル展示で紹介。「知らなかった」「利用してみたい」というお声をいただきました。11/6(土)にはアタゴオルの見学会も開催しました。



◆11/3(祝)　ぬいぐるみのおとまりかい ～ハロウィンパーティー～

おはなしかいの後、ぬいぐるみさんだけ図書館にお泊りして、後日夜の冒険の様子をアルバムにしてプレゼント。おはなしかいでは『おばけだじょ』（tupera tupera／作）他５冊のよみきかせや、ハロウィンの飾り付けが好評でした。

その他、「ナイトバックヤードツアー」や「ドキュメンタリー映画『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』無料上映会」など、多くの方にご利用いただきました。来年のフェアもお楽しみに！

米沢市小中学生読書感想画展 12/8(水)～12/12(日)

市内小中学校よりご応募いただいた作品（小学校の部 386 点、中学校の部 55 点）の中から 11/25(木)の審査会において、特選 46 点、金賞 201 点、銀賞 194 点が選ばれました。作品は、ナセ BA１階よねざわ市民ギャラリーにて展示し、2,121 名の方にご来場いただきました。

アンケートのご協力 ありがとうございました。

昨年７月で新図書館（ナセ BA）が開館して５周年を迎えました。この機会に、今後の運営の参考にさせていただくため、９月１日から 14 日までの２週間、来館者の皆様（高校生以上）に利用者アンケートを実施しました。期間中、1,087 名の方々にご協力いただき、貴重なご意見・ご要望をいただきました。ありがとうございます。

集計結果については、HP 等で公開する予定でおります。皆様からのご意見等を参考にし、より使いやすい図書館を目指していきたいと存じます。

貸出ランキング TOP10

［2021.12.2 調べ］※ランキングは常時変動します。

一般［文学一般・日本文学］

1.元彼の遺言状　新川帆立 著
2.検事の信義[佐方貞人シリーズ]4 巻　柚月裕子 著
2.そして、バトンは渡された　瀬尾まいこ 著
2.かがみの孤城　辻村深月 著
2.九十歳。何がめでたい　佐藤愛子 著
6.透明な螺旋[ガリレオ]10 巻　東野圭吾 著
6.琥珀の夏　辻村深月 著
6.月下のサクラ　柚月裕子 著
6.小説 8050　林 真理子 著
6.推し、燃ゆ　宇佐見りん 著

児童［子どもの本］

1.パンどろぼう　柴田ケイコ 作
2.アパートのひとたち　エイナット・ツァルファティ 作
2.かんけり　石川えりこ 作
2.おしりたんてい みはらしそうのかいじけん　トロル さく・え
2.おしりたんてい ふめつのせっとうだん　トロル さく・え
2.地震のサバイバル
2.深海のサバイバル
2.ぐりとぐら　中川李枝子 作
2.ノンタンふわふわタータン　キヨノサチコ 作・絵
2.14 ひきのあきまつり　いわむらかずお 作

＊実施しました＊

第32回 文学講座

10/10(日)、17(日)、24(日)の３回連続で、近世から近代文学を学ぶ「文学講座」を開催しました。１回目は当館の石黒志保より「近世中後期の米沢歌人たち―『霊前勧進詩歌』を読む―」と題して、米沢の俳人・歌人たちが読んだ歌についてお話しさせていただきました。

２回目は当館の青木昭博副館長より「イザベラ・バード『日本奥地紀行』を読み直す」として、置賜地方を「東洋のアルカディア」と称したという部分がよく取り上げられるが、それ以外の部分についてバードがどのように書いているか、お話ししました。

３回目は米沢女子短期大学准教授の岡英里奈氏より、島崎藤村と田山花袋の文学を取り上げ、両者を比較しながら日本における自然主義文学の盛衰についてわかりやすくお話しいただきました。

第36回 ふるさと歴史講座

11/7(日)、14(日)、21(日)の３回連続で、米沢の歴史を学ぶ「ふるさと歴史講座」を開催しました。１回目は米沢女子短期大学教授の原淳一郎氏より「米沢藩の宗教政策と山岳信仰」の題で、今年上梓された『近世の旅と藩』から米沢の宗教政策についてお話しいただきました。

２回目は米沢古文書研究会の岡崎勝利氏と平賀陽子氏より「翹楚篇（ぎょうそへん）を読む」と題して、荻戸（のぞき）善政が上杉鷹山の言行を書いた『翹楚篇』という書物を丁寧に読解して下さいました。こちらも今年両氏が出版された『側近が見た上杉鷹山の素顔』からのご研究成果です。

３回目は当館の青木昭博副館長より「米沢藩の木版印刷と荻戸善政の『播時考（ばちこう）』」と題して、荻戸著の『播時考』につながる米沢藩の印刷の歴史や効果についてお話しいただきました。